

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	神戸薬科大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コウベヤッカダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	薬学部
	担当教職員名・役職	学生就職部長・教授 北川裕之学生就職委員:教授 濱口常男、教授 田内義彦、教授 小西守周 准教授 山野由美子、准教授 玉巻欣子、准教授 池田宏二学生就職課長:三木宏之以上、平成29年度担当者氏名
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	78
	受入企業等数	31
	受入企業等名	1 あすか製薬株式会社 2 塩野義製薬株式会社3 大日本住友製薬株式会社4 帝人株式会社5 Meiji Seika ファルマ株式会社6 共和薬品工業株式会社7 荊盛堂薬品株式会社8 千寿製薬株式会社9 富田製薬株式会社 10 昭和化工株式会社 11 田村薬品工業株式会社 12 株式会社伏見製薬所 13 扶桑薬品工業株式会社 14 株式会社LSIメディエンス 15 ナカライテスク株式会社16 エイツーヘルスケア株式会社17 株式会社リニカル 18 アルプレッサ株式会社 19 株式会社ケーエスケー20 合同東邦株式会社 21 株式会社サンキ22 株式会社スズケン23 株式会社メディセオ24 株式会社アカカベ25 イオンリテール株式会社 26 株式会社キリン堂27 株式会社コクミン 28 株式会社ココカラファイン29 サンドラッググループ30 株式会社スギ薬局 31 株式会社スパーテル
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	製薬企業におけるMR同行、薬局における医師・看護師の在宅訪問への同行、薬局店舗で薬の説明立会い、製薬企業における製剤試作品の制作業務・添加剤の定量試験等、工場での原料試験・品質管理の実習等
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	4年生・5年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	4年次・5年次連続で受講できる。ただし、1度、単位を付与された者には2回目の単位を付与しない。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	各インターンシップ期間の終了時に、受入先への電話による聞き取りを実施している。また、参加学生へは、日報を提出する際に、大学側から、直接、聞き取りを実施するようにしている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	専門講師による「ビジネス・マナー講座」の受講を必須としている。また、「事前説明会」においては、受入先についての事前研究をして参加するよう指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	「日報」と、まとめた「報告書」をインターンシップ終了時に大学へ提出することとしている。また、「報告会」を大学で開催し、インターンシップでの経験や成果を発表することによって、今後の進路選択につなげ、自身の成長を確認する機会としている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	モニタリング内容①インターンシップ期間中に、学生が迷惑をかけることがなかったか②今後、大学側が改善すべき点はないか
要素	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	①受入先からの「インターンシップ学生評価」を受けている②教員による「総合評価」を実施している

④	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	①インターンシップ終了時に、受入先から「学生評価」を所定の様式で提出していただき、評価コメントに限り学生へ開示している。②「総合評価」は、単位認定と同時に学生は確認することができる。5段階評価(秀、優、良、可、不可)
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間(うち、インターンシップ実施期間3日間)
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
要素⑥	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前学習、ビジネス・マナー講座、報告会のための準備期間、報告会発表当日までの日程を含めて、5日間以上のインターンシップに見合う学習の場ととらえている。
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
要素⑦	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入先から提出してもらった「学生評価」を、単位修得決定の際の資料としている。「学生評価」の項目に追加・修正を希望する受入先があれば、その都度、検討している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途、郵送にて提出済(シラバス、インターンシップガイド)
問い合わせ先	大学等名	神戸薬科大学
	担当部署名	学生就職課
	担当者役職名	課長 三木宏之
	担当者氏名	
	電話番号	078-441-7511
	メールアドレス	shushoku@kobepharm-u.ac.jp